

シアトルだより June 2016 Vol.3



みなさんこんにちは。6月といえば日本では梅雨ですが、こちらには梅雨はなく、卒業シーズンです。卒業を前に4年生には様々な行事があります。

卒業を前に「イヤブック」が配られます。卒業アルバムのようなものです。大きな違いは、日本のアルバムは3年間の記録として卒業前に買いますが、こちらのイヤブックは、毎年全校生が登場するアルバムということです。つまり買いたい子は毎年買うことになります。中身はかなりクオリティが高く、驚くべきことに生徒が企画編集しており、そのための授業も用



意されていることには感心しました。

それからプロムというダンスパーティーがあり、学校のPTAが会場を貸し切ります。この日は生徒もうんとおしゃれして、目いっぱい楽しめます。卒業式の前日には、校内の全生徒が集まります。卒業生のスピーチや、優秀生徒の表彰があります。この舞台に立てることはとても名誉なことで、生徒はスタンディングオベーションで迎えます。



卒業式本番は、市の施設を借り切って行われました。スクールカラーの紫のガウンを着るのですが、このガウンにも成績によってしるしが入っています。卒業生の名前が呼ばれると保護者は拍手喝采です。日本の卒業式とは雰囲気は違いましたが、卒業を祝う気持ちは同じに感じました。

こちらの学校では職員全員がそろう機会がほぼないので、なかなか挨拶ができる機会がありませんでしたが、チャンスを見つけ、頼んでやっと話をさせてもらいました。職員全員に認知してもらい、ぐっと動きやすくなりました。



授業についてですが、3年生の日本語では、卒業を前に新たな単元をしました。地球規模の貧富の問題や身近な人種差別など、地球に生きる人としてどう考えるかを、活動や討論を交えつつ、最終的にそれぞれが発表しました。

2年生の日本語の授業では、学校紹介の練習をしました。神戸北高校の位置、人数、規則、特色などについて紹介をし、それをもとに今度は生徒がカミアック高校の紹介をするという内容です。話すテストは、Skypeで神戸北高校の生徒と話しているという設定で、お互いの学校紹介の役割演技。実際は私が生徒役をしました。

時差の関係でなかなか難しそうですが、別の形でも何らかの交流ができればと考えています。

